

Responsible Care

 住友化学

環境・安全レポート

三沢工場のレスポンシブル・ケア活動



豊かな暮らしを支える 「^カ化学^{チカラ}の力」

住友化学(株)三沢工場は、レスポンシブル・ケア活動を推進し、健康で豊かな暮らしを応援しています。

私たちの豊かな暮らしの中で、化学製品は必要不可欠で身近な存在です。

住友化学(株)三沢工場で生産される製品は、家庭用殺虫剤、衣料用防虫剤、人・動物用害虫駆除剤等、人の住環境に欠かせない製品の生産に利用されます。

しかし、このような化学製品を製造する企業には、その取り扱いや処理に対し、とても厳しい責任が課せられています。それは、管理が適切でないと人体に害を与えたり、自然破壊や環境汚染につながる恐れがあるからです。

そのため、私たちは製品の開発から製造、物流、使用、そして消費に至るまで全ライフサイクルにおいて「安全、環境、健康」を守り、製造する製品の品質の維持・向上を図るため、レスポンシブル・ケア活動を強く推し進めています。

今も、これからも、地域の皆様、お取引先の皆様はじめ、国内外のすべてのステークホルダーの皆様に引き続き厚いご信頼を頂けるよう、日々新たな気持ちで製品づくりに励んで参ります。

— For a Sustainable Future —

住友化学(株)三沢工場は、持続可能な社会の実現に向けて、世界の「食糧」「健康・衛生」「環境問題」の課題解決に貢献したいと考えています。



ピレトリ

三沢工場で作られる化学製品の成分から生まれた小鳥。三沢工場のきれいな水で水浴びすることが好き。

みーちゃん

三沢工場のきれいな水から生まれた妖精の女の子。三沢市のきれいな海がだいすき。

わたしたちが
住友化学三沢工場を
案内します！

【目次】 -CONTENTS-

住友化学グループの企業理念	3
工場長ごあいさつ	4
三沢工場の概要	5
レスポンシブル・ケア活動	7
環境保全活動〈水質編〉	9
環境保全活動〈大気編〉	11
環境保全活動〈廃棄物編〉	13
省エネルギー・CO ₂ 排出量削減	15
化学品管理	17
労働安全衛生	19
保安防災	21
品質保証	23
私たちを取り巻く社会とともに	24
国内拠点・アクセス	25

－ 住友化学グループの企業理念 －

住友の事業精神

「営業の要旨」

- 第1条 わが住友の営業は信用を重んじ、**きょうこ** 確実を旨とし、もってその**きょうこ** 鞏固隆盛を期すべし。
- 第2条 わが住友の営業は時勢の変遷、**しちよう** 理財の得失を計り、**しちよう** 弛張興廢することあるべしといえども、いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

経営理念

住友化学は、

1. 技術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦します。
2. 事業活動を通じて人類社会の発展に貢献します。
3. 活力にあふれ社会から信頼される企業風土を醸成します。



サステナビリティ推進基本原則	
原則1	経済価値と社会価値の創出 (「自利利他 公私一如」の推進)
原則2	国際社会の重要課題解決への貢献
原則3	関係機関との連携
原則4	ステークホルダーとの協働
原則5	トップコミットメントと全員の参画
原則6	ガバナンス

ごあいさつ



住友化学株式会社
三沢工場長 片山 泰実



住友化学三沢工場は1978年(昭和53年)の操業開始以来、家庭防除用殺虫剤、農業及び医薬用原体を世界へ供給する生産工場としての役割を担って参りました。皆さま方には、40年以上の長きにわたり一方ならぬご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今日の私たちは地球規模で深刻化する地球温暖化をはじめとする環境問題や資源・エネルギー・食糧確保の問題など、数多くの克服すべき課題を抱えております。持続可能な社会の実現に向けた諸課題を解決するために「化学の力」が果たすべき役割と期待は一層大きくなっております。

住友化学では長年培ってきた技術力を活かして、安全と環境に配慮した、高機能・高品質で信頼性の高い製品を安定的にお客さまにお届けすることにより、SDGsに掲げる諸課題に取り組むとともに、人々の豊かで快適な暮らしを支えることに貢献して参りました。

今後も、地域社会や行政、幅広いステークホルダーの皆さまとも連携しながら、レスポンス・ケア(RC)活動を推進していくとともに、グローバルな事業展開を通じて、「サステナブル・ケミストリー」※1で持続可能な社会の実現に貢献することを使命と考え、事業活動を推進して参ります。

三沢工場では「安全をすべてに優先させる」の基本理念のもと、無事故・無災害による安定操業と環境に配慮した工場運営の継続に努め、皆さまの信頼に応え、より安心して満足が得られる製品を安定的にお届けして参ります。

本レポートは、環境や社会とのつながりを大切に考える視点に立つ当工場の生産活動を、様々なステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えするために作成しました。

是非、三沢工場のRC活動の取り組みや実績をご覧になり、ご理解を深めて頂きますとともに、皆さまの率直なご意見・ご要望をお寄せ頂ければ幸いです。今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※1「サステナブル・ケミストリー」/化学の力を通じて、人々の生活に有用なものを環境や社会により望ましい形で継続して提供していくという考え方。

住友化学グループのSDGs

～事業を通じた持続可能な社会の実現のために～

2015年に国連で採択されたSDGsに代表される環境・エネルギーや食糧問題などの社会課題の解決において、化学が果たしうる役割はより大きくなっていきます。

当社は、2019年4月にスタートした中期経営計画において「経済価値、社会価値の両方を創出し、住友化学の持続的な成長とサステナブルな社会を実現する」という目指す姿を掲げました。



住友化学HP
住友化学グループのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月、国連加盟国(193国)は、より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)」です。(グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン より)

01 Responsible Care

三沢工場の概要

緑に囲まれた広い工場には、モノづくりに必要なたくさんの施設があります。



三沢工場の主な製品

屋内・屋外で使用する「家庭用殺虫剤」、「虫除け樹脂製剤」等に用いられるピレスロイド系薬剤、衣料防虫剤用薬剤、シロアリ用薬剤、動物薬用原料などを製造しています。

三沢工場で生産した製品は、各製剤メーカーにおいて商品化され、皆様のご家庭で幅広く使われています。

家庭用殺虫剤

- 蚊取り線香
- エアゾール
- 蚊取り器(リキッド、マット・ファン式)

衣料用防虫剤

- 押入れ・クローゼット用

人・動物用害虫駆除剤

- ダニ・ノミ駆除剤



三沢工場の概要

R C

環境保全活動

化学品管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

私たちが取り巻く社会とともに

国内拠点・アクセス

三沢工場の概要

R C

環境保全活動

化学品管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

私たちが取り巻く社会とともに

国内拠点・アクセス

02 Responsible Care

レスポンシブル・ケア活動

「安全をすべてに優先させる」という基本理念のもと、お客さまの安心と満足、社会からの信頼に応えるために、様々な使命に取り組んでいます。



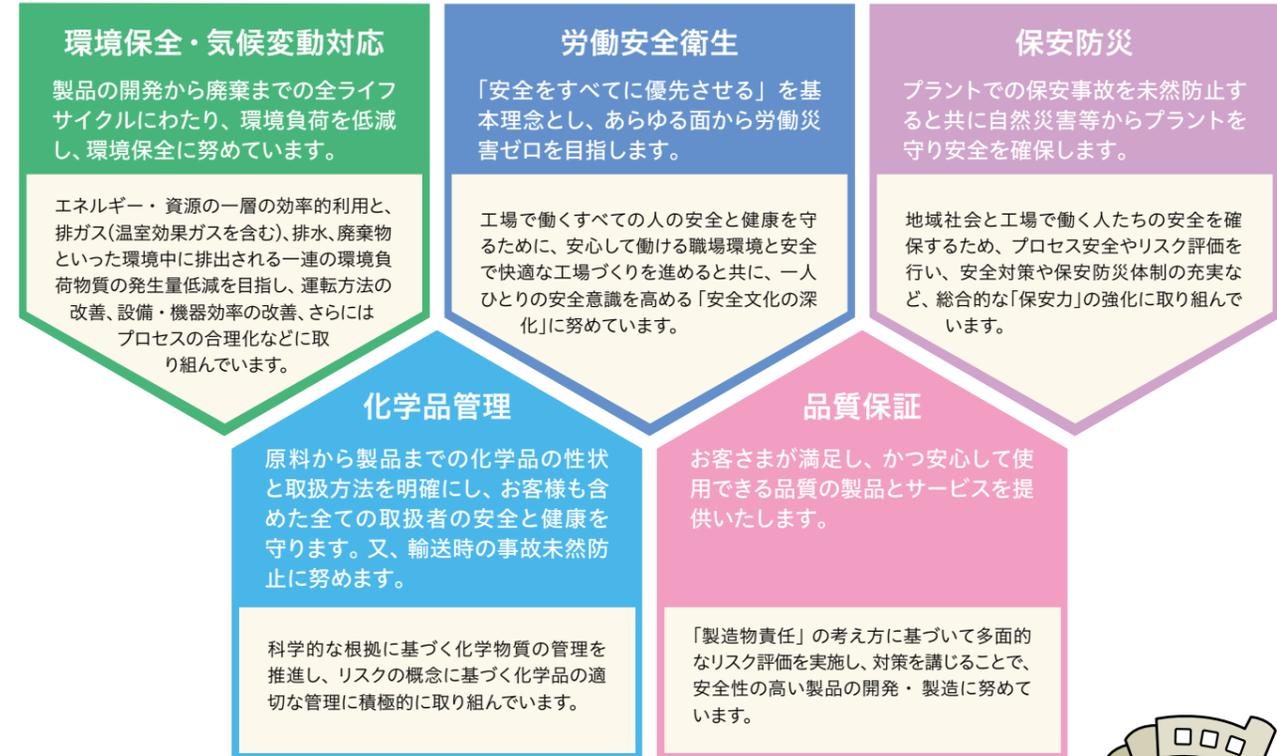
三沢工場の概要
R C
環境保全活動
化学品管理
労働安全衛生
保安防災
品質保証
私たちが取り巻く社会とともに
国内拠点・アクセス

私たちは、一人ひとりが「安全・環境・品質」を守るという高い使命感を持ち、「安全をすべてに優先させる」の基本理念のもと、レスポンシブル・ケア(RC)※活動を推進しています。

安全で環境にやさしく、より良い品質の製品を安定的に供給し、地域の皆さまに安心・信頼していただけるよう、また工場で働くすべての人々が快適に働けるように、鋭意努めて参ります。

三沢工場のレスポンシブル・ケア活動概要

三沢工場では、「環境保全・気候変動対応」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品管理」および「品質保証」の分野ごとに目標を設定してレスポンシブル・ケア活動に取り組んでいます。



※レスポンシブル・ケア(RC)

化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において、安全・環境・健康を確保するとともに高い品質の維持・向上を図り、対話を通じて社会からの信頼を深めていく、事業者による自主的な活動です。

三沢工場のマネジメントシステム

環境マネジメントシステム (ISO14001)	品質マネジメントシステム (ISO9001)
環境に関するマネジメントシステムの要求事項を規定した国際規格。	品質に関するマネジメントシステムの要求事項を規定した国際規格。

三沢工場では、レスポンシブル・ケア活動の実施項目のひとつである「環境保全・気候変動対応」を推進するためのツールとして環境マネジメントシステム(ISO14001)を、お客さまに安定した品質の製品とサービスをお届けするためのツールとして品質マネジメントシステム(ISO9001)を取り入れ、PDCAサイクル※を回しながら、環境保全および品質保証体制の継続的改善を図っています。

※PDCAサイクル/計画(Plan)を立て、実行(Do)し、そのプロセスおよび結果の評価(Check)をもとに、改善(Action)を行い、次の計画(Plan)に生かしていくプロセス。

- 認証取得**
 - ISO9001 / 1994年
 - ISO14001 / 1999年
- トピックス**
 - 2011年11月 複合審査に移行 (ISO9001とISO14001の同時審査)
 - 2015年12月 統合マネジメントプログラム プレミアムステージの評価基準クリア
 - 2016年4月 ISO規格2015年版での運用開始

三沢工場 環境・品質方針

私たちは、持続可能な社会の実現に向け、世界の食糧・健康・衛生、環境問題などの諸課題の解決に貢献するため、家庭用・防疫用殺虫剤、農業の原体、及び医薬品原体の供給工場としての役割と責任を自覚し、お客さまの信頼と満足を得られる製品を安定的にお届けします。

- 「無事故無災害」、「顧客重視」、「社会との共存共栄」という経営の基本理念に則り、事業活動に伴う環境への影響を認識し、その評価と低減を行い、環境保護に努めます。
- 環境、及び品質に関する法令・条例・協定等を遵守するとともに、レスポンシブル・ケアの精神に則って、広範なリスク評価と適切な管理を行い、環境の汚染予防に努めるとともにお客さまの安心と満足を得られる製品を供給します。
- 社会からの信頼に応えることを常に考えて、環境・品質に関する目標・計画を設定し、かつ定期的に見直し、継続的改善を図るとともに、社内外の監査により、マネジメントシステムのより一層の維持向上に努めます。
- 生産活動に関わるすべての部門において、省資源、省エネルギー、及び廃棄物の削減を進めるとともに、温室効果ガス(GHG)の排出量低減など、環境負荷の低減に努めます。
- 関係諸官庁、及び地域住民とのコミュニケーションを深め、地域に十分配慮した工場運営を行うとともに、社会貢献活動を通じて地域や自然との共生を図ります。
- 環境・品質に関する教育・工場内広報活動を実施し、一人ひとりが環境・品質方針について理解を深め、意識の向上を図り、目標を共有するとともに、活動を強化するために、工場内で働く関係会社、及び協力会社にも、環境・品質方針を周知します。

この方針は、社内外に公表します。

2019年10月01日
住友化学株式会社 三沢工場長
片山泰実

リスクベースのマネジメント

三沢工場では、リスク・クライシスマネジメント委員会を設置し、工場を取り巻く広範なリスクの早期発見と問題の顕在化を防ぐため、毎年リスクの抽出と評価を行って対策を講じるにより、工場運営に対する影響の最小化を図っています。

2012年8月に開始した「リスクベース監査」への転換を機に、問題の本質を深掘りする新しいリスクアセスメントを導入しています。

三沢工場の包括的なマネジメントシステムの要として、保安防災リスクは勿論の事、安全・環境・品質、その他の様々なトラブルの未然防止に有効な手法として広く展開しています。

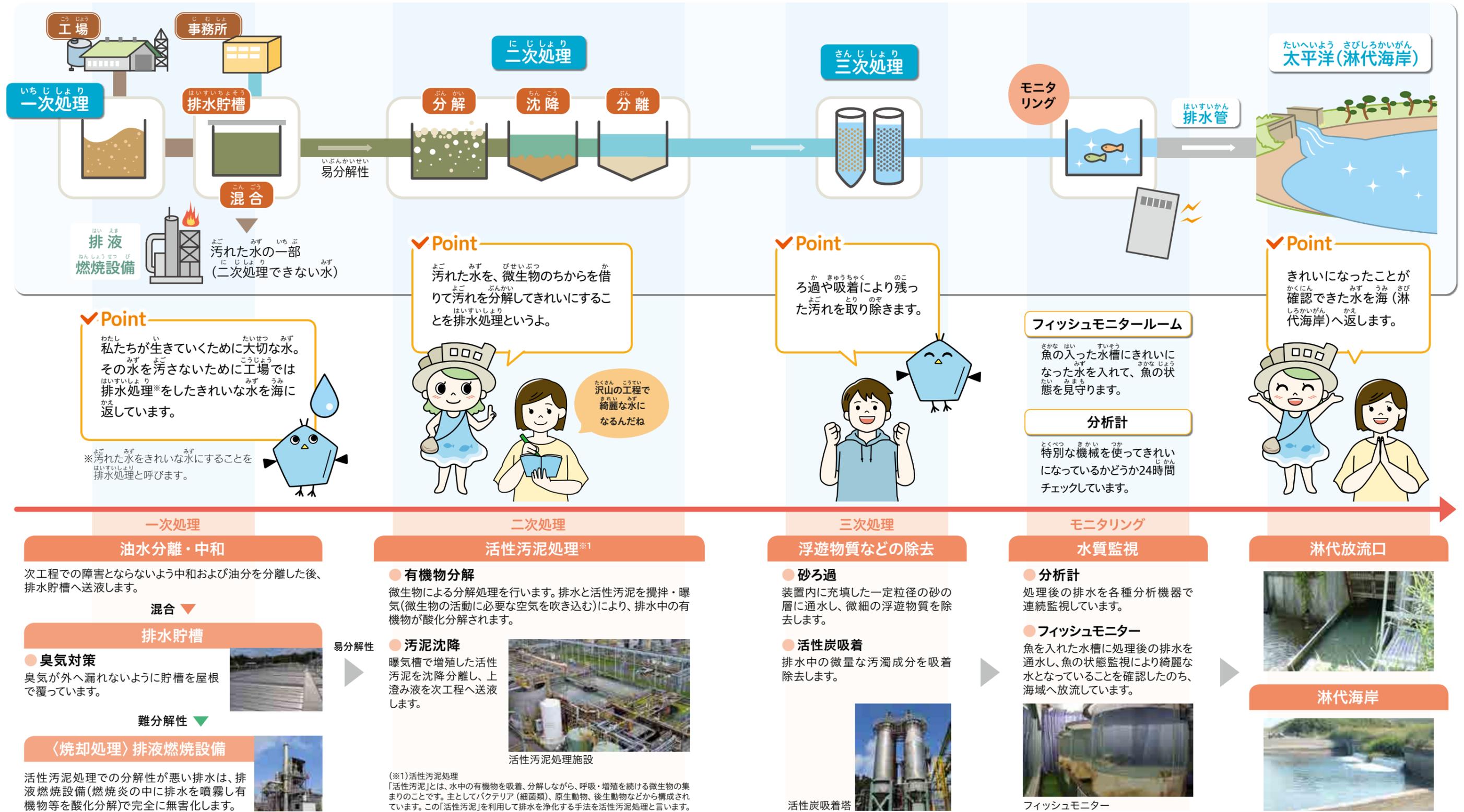


03 Responsible Care

環境保全活動<水質編>

工場で利用された水は排水処理施設で完全に浄化されたあと、自然に返しています。

三沢工場で使用している水は、地下水、温泉水を汲み上げて様々な用途に利用しています。工場内で使用した後の水(排水)は以下に示す排水処理工程にて汚れを分解・浄化したのち、自然(海)に返しています。製造工程から発生する排水は二次処理(微生物分解)での処理性に依りて処理系統を分けて処理しています。(下図参照)



三沢工場の概要
R C
環境保全活動
化学製品管理
労働安全衛生
保安防災
品質保証
私たちが取り巻く社会とともに
国内拠点・アクセス

三沢工場の概要
R C
環境保全活動
化学製品管理
労働安全衛生
保安防災
品質保証
私たちが取り巻く社会とともに
国内拠点・アクセス

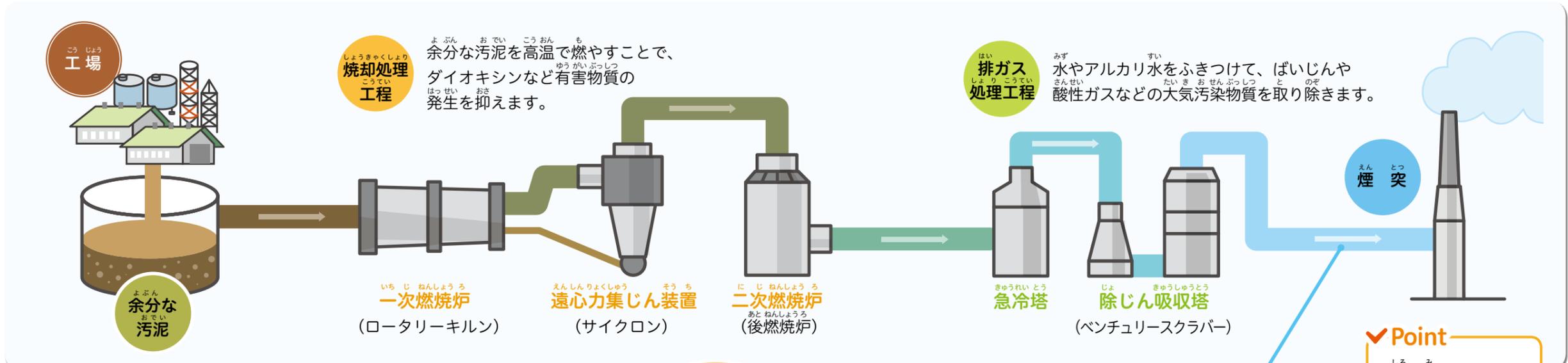
04 Responsible Care

環境保全活動<大気編>

大気を汚さないように、焼却処理の排ガスは有害物質を取り除き、24時間厳しく監視しています。

※LNGへの燃料転換や高効率のコージェネレーションシステムへの更新により、より一層きれいになりました！

住友化学の各工場では、大気汚染防止法の排出基準よりも厳しい基準（協定基準）を自治体（県・市）と締結しています。工場ではこれら基準を遵守するためにさらに厳しい自主管理基準値を設定し、環境負荷の一層の低減に努めています。大気環境負荷および水域環境負荷の削減など各面での積極的な対策を推進し、環境パフォーマンスの継続的な改善に向けて取り組んでいます。



燃焼設備 (ばい煙発生施設)



貫流ボイラー ●役割/蒸気製造



ガスタービン・コージェネレーションシステム ●役割/自家発電、蒸気製造



排液燃焼設備 ●役割/排水焼却

Point

廃棄物焼却炉では主に排水処理で発生した余分な汚泥※を処理しています。処理の過程で発生した排ガスはきれいな状態にして大気へ出します。

※水の汚れを分解する微生物の集まりで、増えすぎて余ったもの。

Point

800度以上の高温で燃やすよ！

有害物質があまり出なくて、地球にやさしいんだ！

Point

80度以下まで一気に冷やすよ！

自動分析器

排ガスがきれいになったかどうかが24時間チェックしています。

Point

白く見えているのは水蒸気なんだよ

廃棄物焼却炉における排ガス処理のしくみ



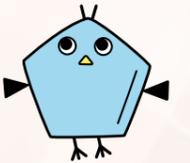
様々な処理で排ガスを無害化し排出しています。



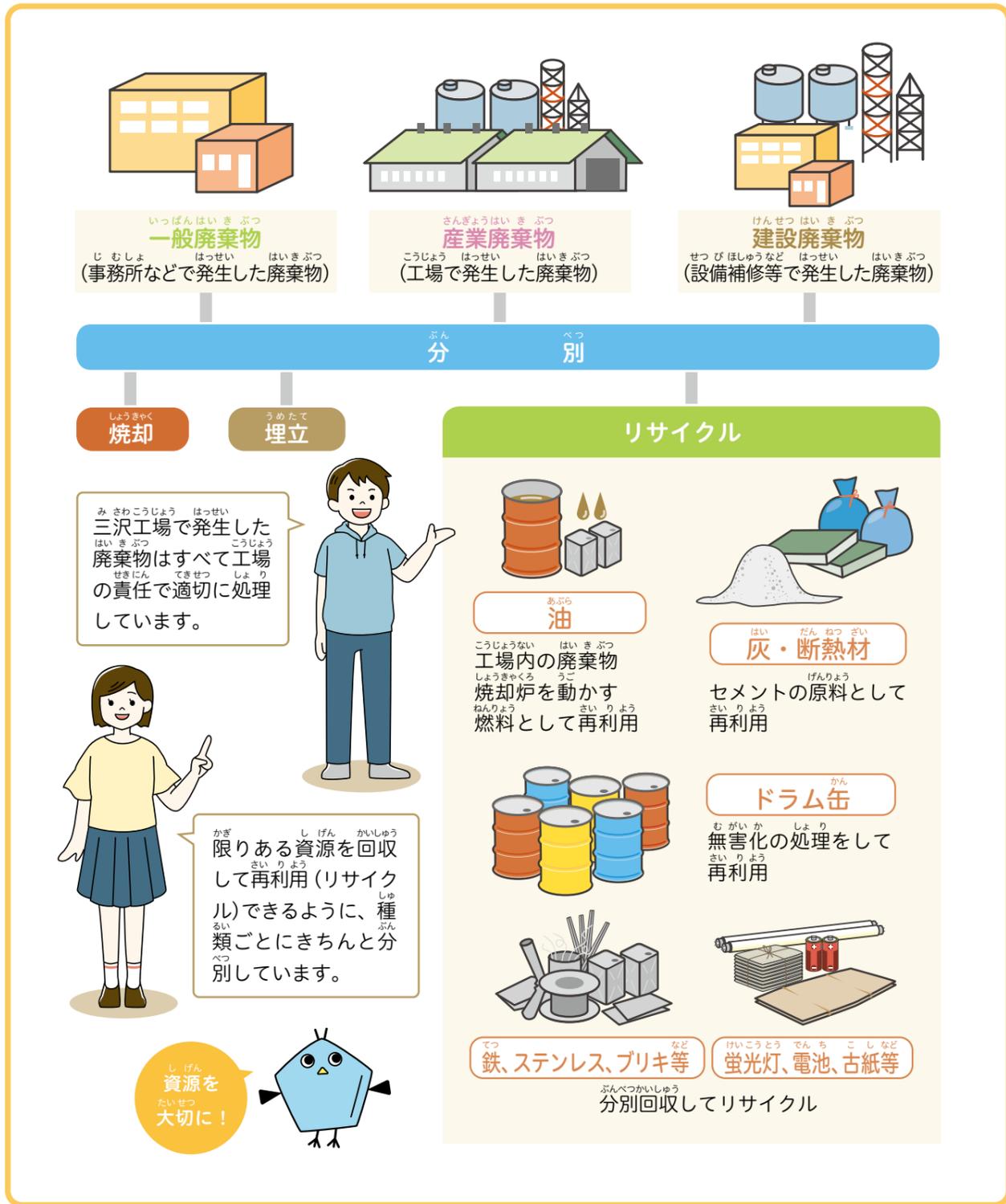
ボイラー・ガスタービン共用煙突

環境保全活動〈廃棄物編〉

廃棄物の生産量を抑制するとともに、厳格かつ適正な管理を行い、ごみの分別を徹底して資源のリサイクルを推進しています。

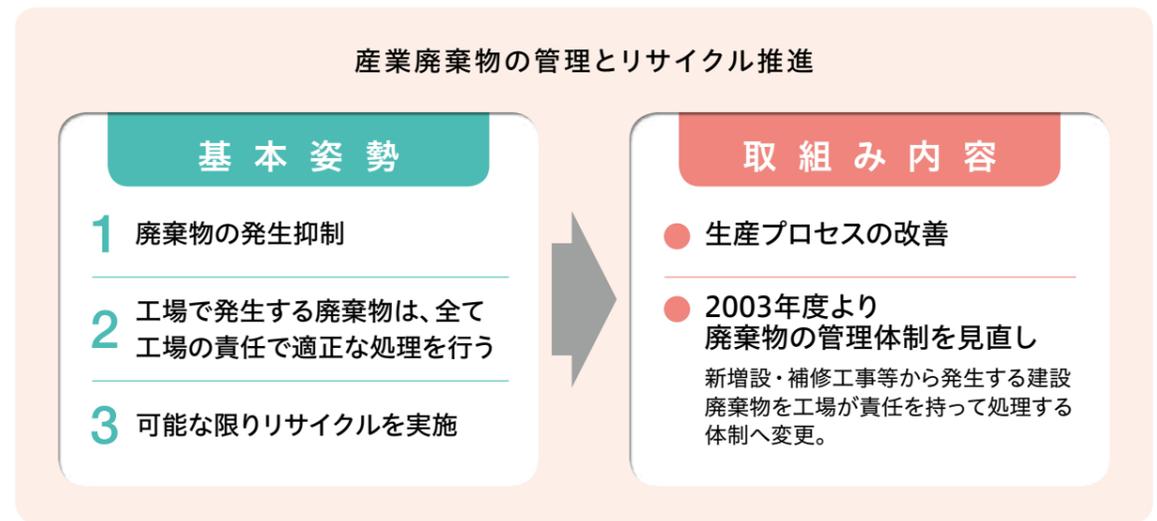


住友化学は、廃棄物の発生量抑制とその再使用（リユース）および再利用（リサイクル）の推進に向けて数値目標を掲げ、その確実な達成に努めています。



三沢工場では、循環型社会の実現に向けて3R（リデュース、リサイクル、リユース）を推進し、廃棄物の削減に取り組んでいます。

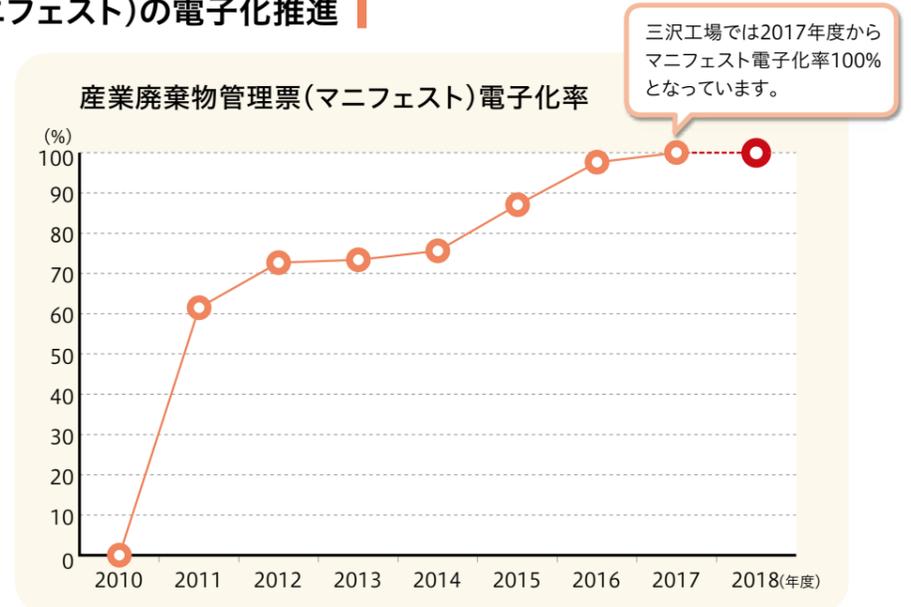
工場から発生する廃棄物はすべて工場の責任で処理することを基本とし、新增設・補修工事などで発生する建設廃棄物についても三沢工場の廃棄物として責任を持って処理する体制へと移行し、分別徹底によるリサイクルの推進を継続しています。



産業廃棄物管理票(マニフェスト)の電子化推進

事業者が産業廃棄物を外部に委託する場合、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子情報を活用する「電子マニフェスト」の使用が法律で義務付けられています。

当社はマニフェストに関する事務効率化、コンプライアンス徹底、さらにはデータの透明性といった観点から、各事業所においてマニフェストの電子化を推進しています。



06
Responsible
Care

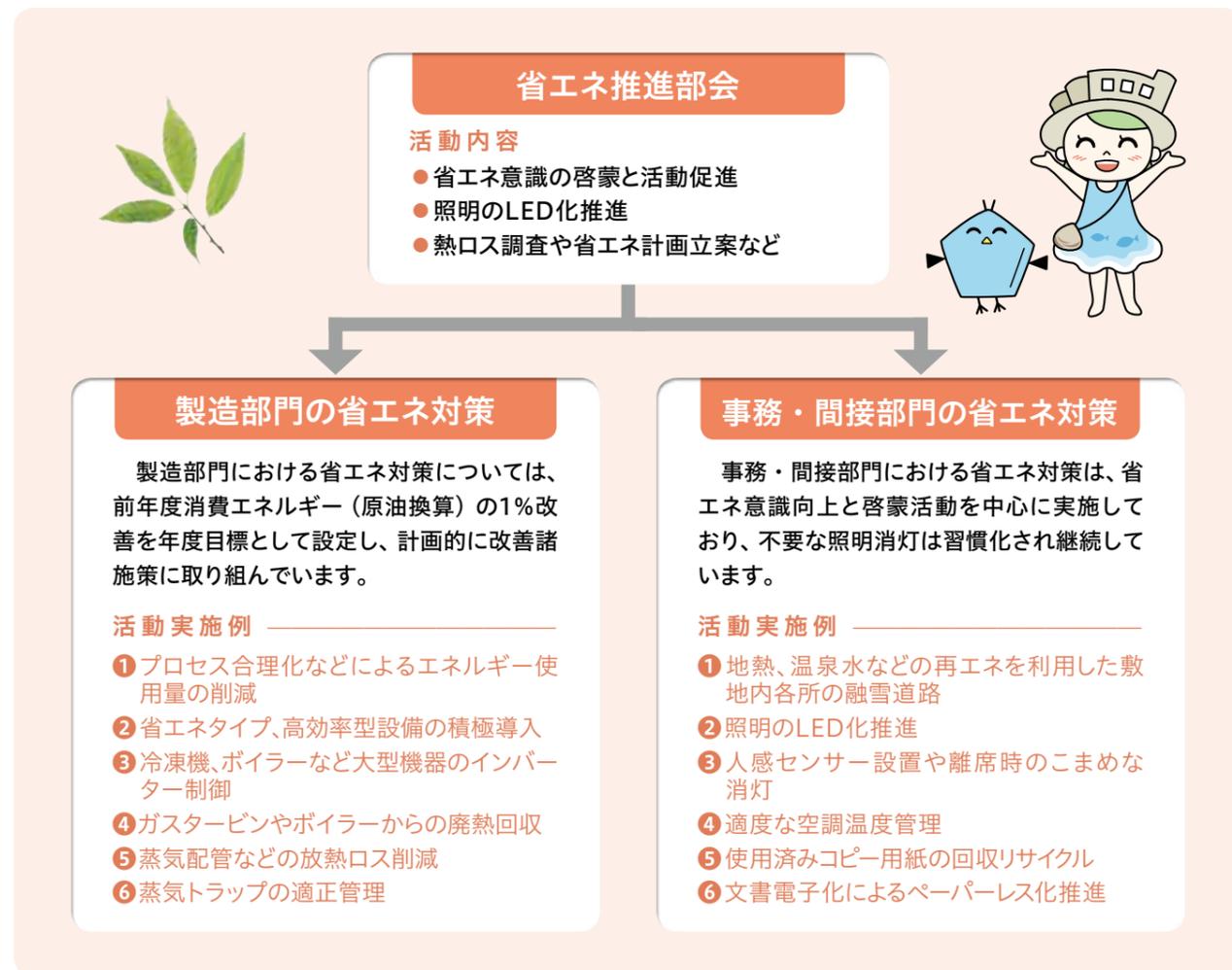
省エネルギー・CO₂ 排出量削減

省資源、省エネルギー、ならびに温室効果ガス(GHG)排出量低減に向けて、チャレンジングな数値目標を掲げ、積極的に諸施策に取り組んでいます。

住友化学は低炭素社会および循環型社会の早期実現に向けて、一層の省エネルギーおよびCO₂(二酸化炭素)排出削減に向けて数値目標を掲げ、その確実な達成に努めています。また、CO₂排出量などは発生源別に正確に把握することで、改善点を明確にするとともに全般的な管理向上につなげています。

省エネルギー推進体制

三沢工場では、省エネ推進部会を事務局として全社目標を達成するために電気や燃料の使用量削減を積極的に推進することにより、低炭素化、CO₂(二酸化炭素)の排出量抑制に努めています。また、省エネ・省資源の取り組みは、製造部門に限らず、事務・間接部門においても取り組んでいます。



SBT(Science Based Targets)への取り組み

住友化学グループは、2015年に採択された「パリ協定」の「2°C目標」を実現するために、「2030年度までに、グループのGHG^{*}(温室効果ガス)排出量(Scope-1+2)を2013年度比で30%削減」を目標の一つに掲げ、SBT^{**}イニシアチブの認定を取得しました(2018年10月)。

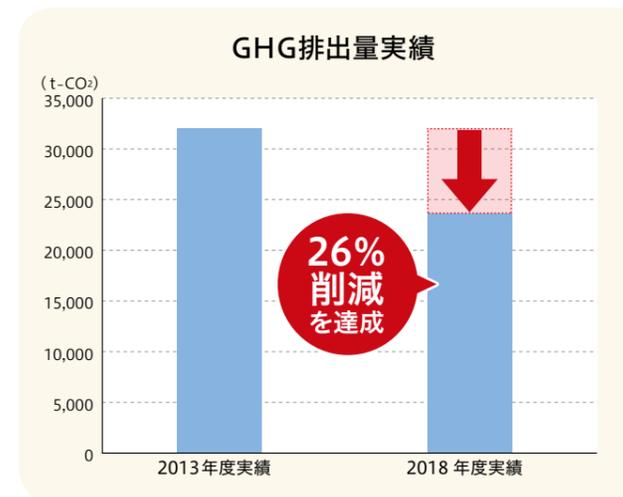
住友化学 三沢工場でも、積極的にGHG排出量削減に取り組んでいます。

^{*} GHG: 温室効果ガス(CO₂その他6つのガス成分)
^{**} SBT: Science Based Targetsの略、産業革命前からの地球の平均気温上昇を2°C未満にするという目標実現のため、企業が気候科学に基づき設定した高水準な目標。



燃料転換(LNG化)とCO₂排出量低減の効果

従来のコージェネレーションシステム(CGS)を、より発電効率が高く廃熱回収にも優れた高効率タイプに更新するとともに、従来のA重油からLNGへ燃料転換することで、CO₂排出量の大幅削減に加えて、排ガス中のSOxおよびNOxの更なる低減を実現しました。(各排出量データは、別冊DATABOOKをご参照ください。)



環境負荷低減への取り組み

住友化学グループでは、持続的な社会の実現に向け、社会価値創出の重点課題に環境負荷低減への貢献を掲げています。とりわけ、地球規模で人々の生活に大きな影響を及ぼしている気候変動問題には積極的に取り組んでいます。

三沢工場でも、製法合理化、設備・機器効率の改善、環境用設備においては冷凍機のインバーター制御運転での電力削減など、省資源、省エネルギーの積極的な推進に加えて、温室効果ガス(GHG)の排出量を削減するため、低炭素化を積極的に進めてきました。

(エネルギー消費量・同原単位およびエネルギー起源CO₂排出量については、別冊DATABOOKをご参照ください。)

照明LED化の推進 (三沢工場の全照明LED化に向けた段階的置換えの加速)

三沢工場では、『エコ・ファーストの約束』の着実な取り組みに向けて『LED照明の導入』を推進しています。2019~2021年度の3年間で、工場内の非防爆照明のうち、水銀灯および使用頻度の高いものを優先としてLED照明への更新を行う計画です。

2021年度以降は、全社目標である『2030年度末までに全数LED化』に向けて、防爆照明も含めたLED化を段階的に行い、三沢工場全体のLED化率100%を目指します。

07 Responsible Care

化学品管理

科学的な根拠に基づいて化学物質を適正に管理するとともに、リスクマネジメントに基づいた化学品管理を行っています。



化学物質の大気中濃度の把握(自主管理測定)

三沢工場では、大気汚染防止法に基づく「有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質」、PRTR法「第1種指定化学物質」および日本化学工業協会PRTR対象物質の中から、『**工場で使用している物質で長期曝露により人の健康を損なう恐れのある物質**』*を対象に調査しています。

工場の排出実態を正しく把握し今後の管理に役立てるため、自主的に測定しています。

* トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン、メタノール、ピリジン、トリエチルアミン、アセトン、酢酸エチル、モルホリン、ヘキサン=11物質



薬品保管棚

検査、研究部門での化学物質(薬品)の管理

工場で生産した製品の検査部門や製造プロセスの合理化等を行う研究部門では、多くの薬品を取り扱っています。取り扱う薬品は、全てリスト化し、使用量や在庫量などの管理を行うとともに、地震に対する安全対策として薬品保管棚の固定や棚内での転倒・接触による破損防止対策を行っています。

また、薬品等の取り扱いにおいては、局所排気装置(ドラフト)内での作業を徹底し、作業者の健康保護に努めるとともに、局所排気装置(ドラフト)からの排気は除害設備等で処理した後、大気に排出しています。



局所排気装置(ドラフト)

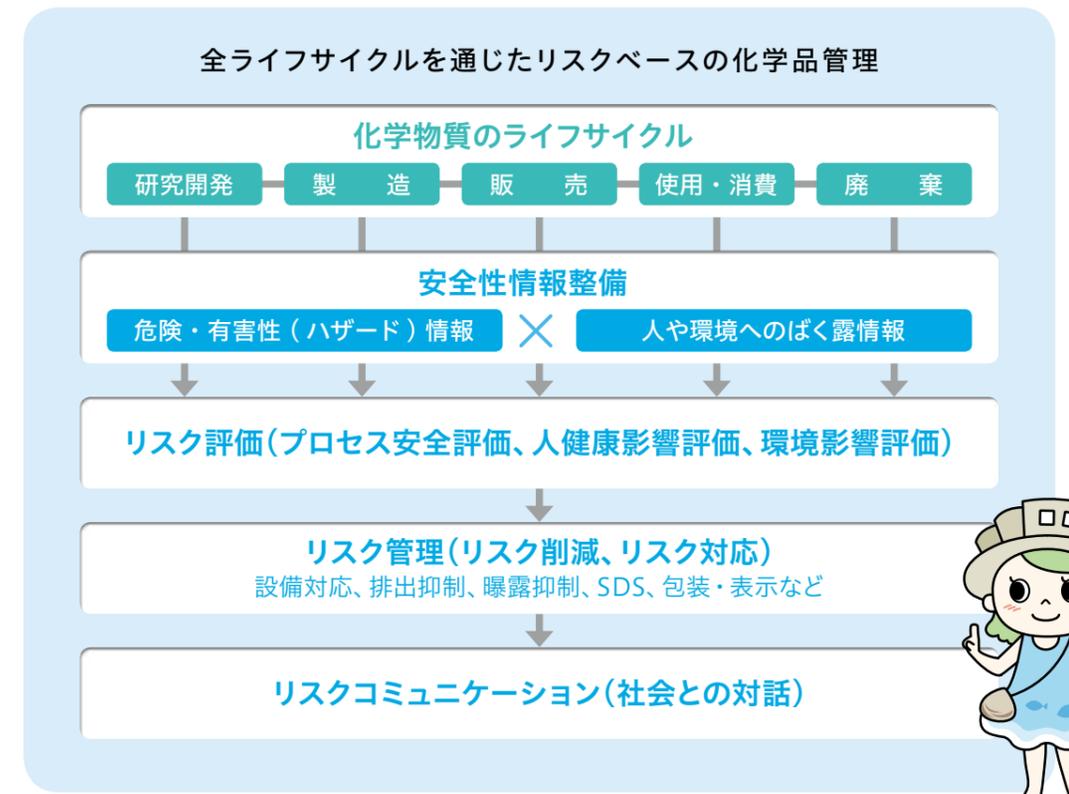
【化学物質管理とリスクコミュニケーション】

国際的な化学物質管理強化の動きを受け、「エコ・ファーストの約束」の中で、当社が年間1トン以上製造あるいは販売している全製品について、2020年度までに適切なリスク評価を実施することを約束しました。

化学品および製品のリスク評価

化学品のリスク評価では、①当社の製品に、どのような「危険・有害性(ハザード)」があるか、②製品を製造・使用する場面で、人や環境がどのくらいその製品に触れるのか(曝露量)の両面から、製品の全ライフサイクルにおける人や環境に対する影響について評価を行います。

製品のリスク評価においては、「製品の化学物質としてのリスク」に加え、「製品の用途・用法に関わるリスク」の2つの側面から評価を行い、リスク低減のための適切な対策を実施しています。



安全性情報の提供

住友化学では当社製品を安全に取り扱っていただくため、製品に含まれる化学物質の安全性に関するデータ調査や社内試験を行い、得られた情報を**安全データシート(SDS*)**の形でお客さまに提供しています。さらに、特に取り扱い上の注意が必要な製品については、SDSを簡略化した**イエローカード**を作成し、輸送途上での緊急事態に対処できるよう、物流関係者に必要な情報を提供しています。

* SDS/化学製品を安全に取り扱うための情報(性状、取り扱い方法、安全対策など)を記載したシートで、日本工業規格(JIS)や国際標準化機構(ISO)などによって記載内容が定められている。



「エコ・ファーストの約束」

住友化学は環境省の「エコ・ファースト制度」に参画しています。環境大臣と約束したエコ・ファーストの約束の達成を目指しています。



1 化学物質管理とリスクコミュニケーション

- ▶ 化学物質(PRTR制度対象物質)の大気・水域排出量の半減
 - ・リスク管理徹底と計画的な排出削減
- ▶ 情報公開およびコミュニケーションの充実
 - ・環境・安全レポートの刊行

2 地球温暖化の防止

- ▶ 工場部門でのエネルギー消費原単位およびCO₂排出原単位の継続的な改善

3 循環型社会の形成

- ▶ 廃棄物の発生抑制、再資源化等による廃棄物埋立量削減・ゼロエミッションの実現

▶ : エコ・ファーストの約束のうち、三沢工場で行っているテーマ

労働安全衛生

安全文化の深化と安全基盤の強化、工場で働くすべての従業員の健康と安全、そしてやりがいをもって活躍できる働きやすい職場づくりを目指しています。

住友化学は、安全衛生の管理システムでPDCAを回すことによって安全を確保するとともに、「安全をすべてに優先させる」という理念を全従業員が徹底するための「安全文化の深化」に取り組んでいます。

住友化学における安全文化とは、『「安全をすべてに優先させる」という人間尊重の理念をベースとして、すべての組織(職場)、すべての個人(従業員)がその理念の重要性を正しく認識し、それを基点として考え、自律的に行動する文化』です。

全社安全の日の制定、運用

全社で一斉に安全を考える日として、2011年度から、毎月第1月曜日を「全社安全の日」として設定しました。「全社安全の日」には、全事業所において全従業員が安全に関する活動や行事を優先して行うこととし、事業所長やラインの長の出張を伴う会議を原則として計画せず、可能な限りこの日に事業所安全衛生委員会、職場安全会議を開催することとしました。

PDCAサイクルを利用した安全衛生活動

三沢工場では、「安全をすべてに優先させる」という安全の基本理念のもと、労働災害ゼロを目指した取り組みを行っています。

リスクアセスメントを活用した年度方針、目標設定と活動計画(P)、実施・運用(D)、点検・改善(C)、システム見直し(A)を一連のサイクルとする継続的な安全衛生活動を展開しています。

また、事故・災害のない工場作りには、従業員や協力会社社員が心身共に健康で、安心して働ける快適な職場環境作りが重要です。当工場では、安全衛生管理組織の様々な活動を通じて、安全で快適な職場作り日々取り組んでいます。

「安全文化の深化」について



三沢工場では、引火・爆発しやすい薬品や高温・高圧の蒸気や高圧電気あるいは塩酸・硫酸等の危険な物質を多量に取り扱っていることから、安全管理上必要なルールとして、様々な規則、基準等を定めています。

当工場では、工事・作業等において、これらの基準等や事前手続きの流れを理解し、ルール遵守の抜けをなくすことを目的に、「ファイン3工場工事安全ルールブック*」および「ファイン3工場工事安全手引書*」を作成し、工場内で業務に従事するグループ会社や協力会社の皆さんに配布しています。

工場で共に働く皆さんが一丸となって「安全をすべてに優先させる」という理念のもと、これらのルールをしっかりと守り、相互に啓発し合うレベルまで「安全文化」を深化させる活動をこれからも推進していきます。

※ルールブック：工事・作業等に関連する規則・基準類の要点や守るべきルールのポイントを抽出してまとめたもの。
※手引書：現場の第一線で働く協力会社みなさんに守っていただきたい基本的ルールを分かりやすくまとめたもの。

従業員の健康管理

従業員が健康面や病気に関していつでも相談が行える様、保健師が診療室に常駐しています。日頃の健康管理については、月に1度、保健師が直接各職場を巡回して血圧・体脂肪測定などを行い、一人ひとりに適切なアドバイスをしたり、相談を受け付けています。

また、産業医が来場する際には、社員本人と直接面談し、メンタル面も併せて自分の健康や病気について相談したり指導を受ける事ができます。



作業環境の把握

三沢工場では、法令に基づき定期的に作業環境測定を実施し、従業員の職業性疾患予防と快適な作業環境確保に努めています。

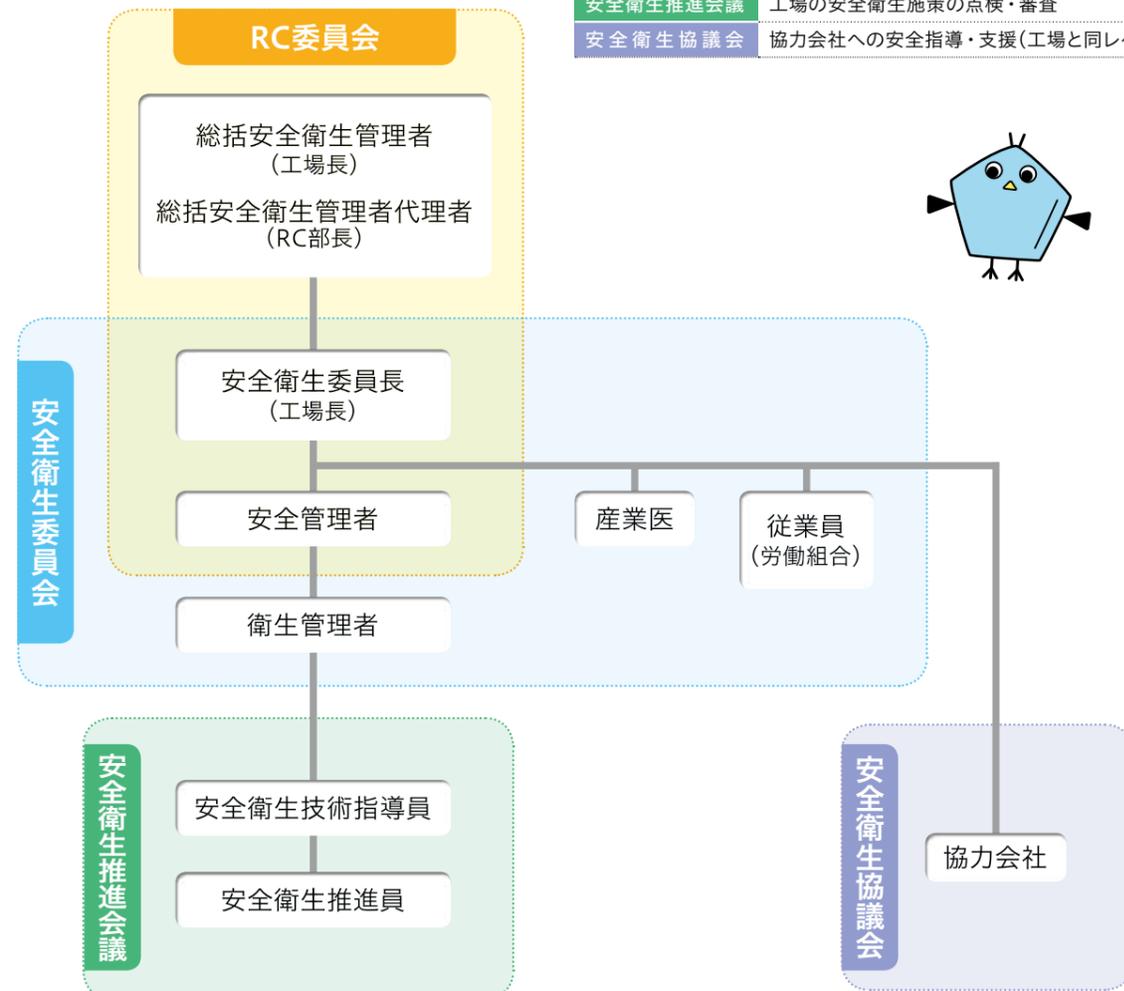
作業環境測定は、作業場所が労働者の働く環境として適切かどうかを把握することを目的に行います。作業環境中に有害な因子(有機溶剤など人に対して有害な化学物質)がどの程度存在し、労働者がどの程度さらされているかを科学的に測定し、その結果に基づいて、設備改善や作業方法の改善を行い、労働者の健康障害の防止に努めています。



循環無害化装置(カプトエア)

三沢工場 安全衛生管理組織

RC委員会	安全衛生管理に関する重要事項の審査
安全衛生委員会	安全衛生管理施策の労働組合への諮問、苦情処理
安全衛生推進会議	工場の安全衛生施策の点検・審査
安全衛生協議会	協力会社への安全指導・支援(工場と同レベル)



保安防災

無事故・無災害を継続し、従業員と地域社会の安全、安心を最優先に考えます。
 確実な保安管理体制のもと定期的な訓練を重ね、安全対策の強化を図っています。

住友化学は、すべての人の安全を最優先に考えた、万全な保安防災体制の構築を進めています。
 従業員のプロセス安全確保のための知識・スキル習得を支援するために、e-ラーニング、集合研修(座学、体感研修)など業務役割を踏まえた様々な保安防災教育を実施しています。
 今後も、重大保安事故を発生させないため、Know-Whyの視点でのプロセス安全技術伝承の推進など、「保安力」の強化を目指した取り組みをさらに充実していきます。



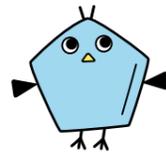
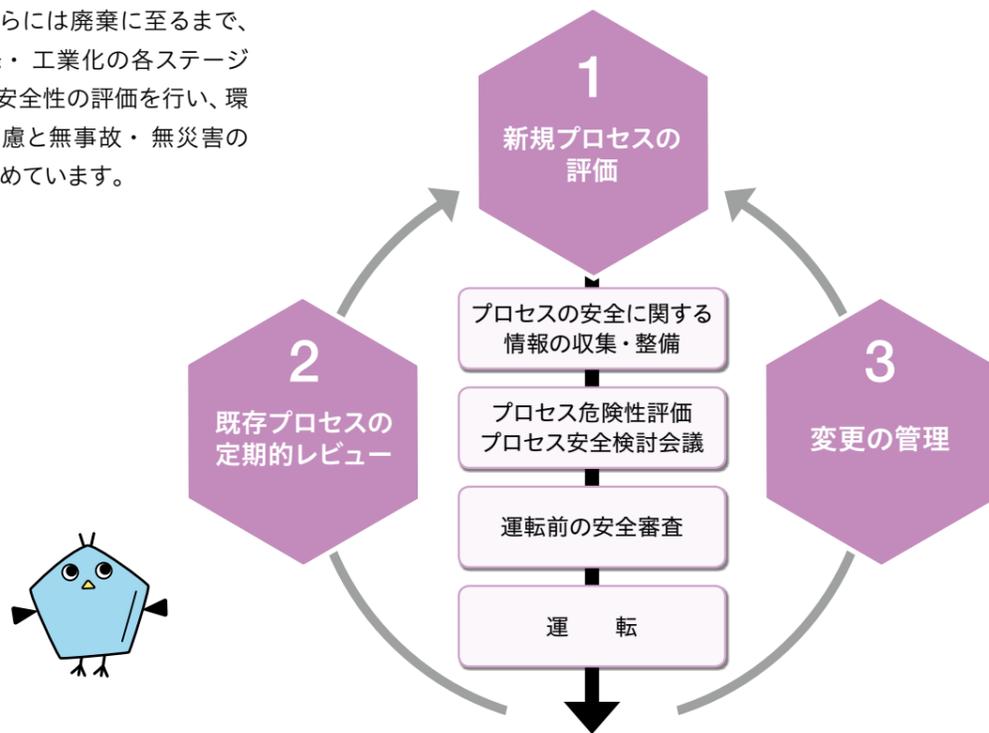
保安防災管理の基本的な考え方

保安防災管理の最大の使命は、プロセスの安全性と設備の健全性を確保してプラントでの保安事故を未然防止するとともに、自然災害やテロ等からプラントを守ること、従業員と地域社会の安全・安心を確保することです。そのためにプラントのリスク評価を徹底し、安全対策の継続的強化や自主保安管理体制の充実を図っています。

プロセスの管理

新規プロセスの研究開発からプラントの設計・建設を経て運転・維持、さらには廃棄に至るまで、製品開発・工業化の各ステージにおける安全性の評価を行い、環境への配慮と無事故・無災害の継続に努めています。

プロセスハザードの管理
(3つのルート)



保安防災体制

三沢工場では、プラントの事故を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合、化学消防車等の各種設備によって災害を最小限に食い止めるための保安防災体制の充実を図っています。

緊急事態に備え、緊急処置や汚染の拡大防止措置を的確に行えるよう定期的な手順書に基づいた総合防災訓練を実施しています。

各種訓練は、夜間や冬季など様々な想定で行っており、火災を想定した訓練では被災者の救助訓練や工場周辺地域への広報訓練なども行っています。



三沢市消防署との合同防災訓練

自然災害(地震・台風・大雪等)への備え

三沢工場では、自然災害(地震・台風・大雪など)に対し、被害を最少限に防ぐための措置や、万一被害が発生した場合の緊急時措置などを手順化しており、定期的に訓練を行っています。また実際に地震等が発生した場合には、構内放送で一斉連絡し、それぞれの事態に応じた措置を実施します。

設備対応

地震



- 建物の耐震補強
- 地震計設置
- 自動放送(震度、対応指示)
- 設備・備品等の転倒防止対策

強風



- 高所作業等の中止指示
- 物品飛散防止対策

停電



- 非常用発電機
- UPS(無瞬断電源供給装置)
- 自動放送(対応指示)

大雨



- 調整池
(一時的豪雨の雨水貯留施設)
- 系統ごとの排水路整備

積雪



- 【設備】耐荷重設計
- 【配管】断熱保温材
- 【人】融雪道路



融雪道路



非常用発電機



調整池(桜ヶ池)

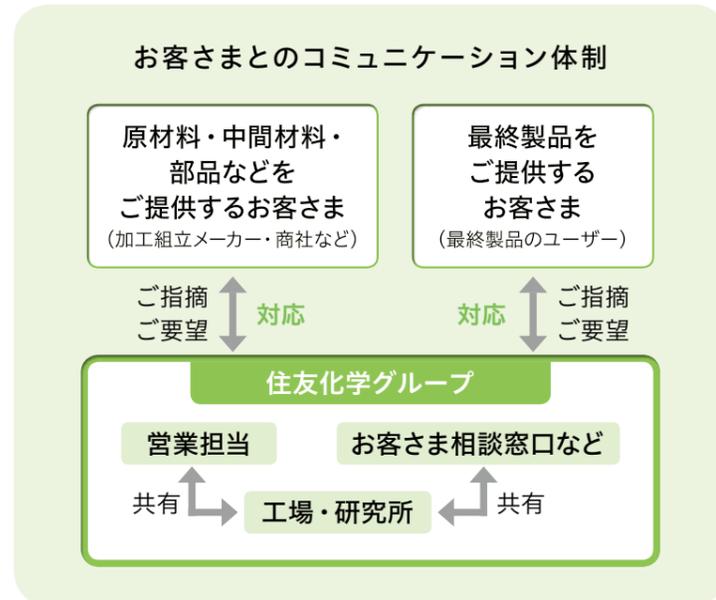
10 Responsible Care

品質保証

安定した品質の製品とサービスをお届けするため、品質マネジメントシステム(ISO9001)に則って、組織横断的な品質保証体制を築いています。

製品のリスク評価

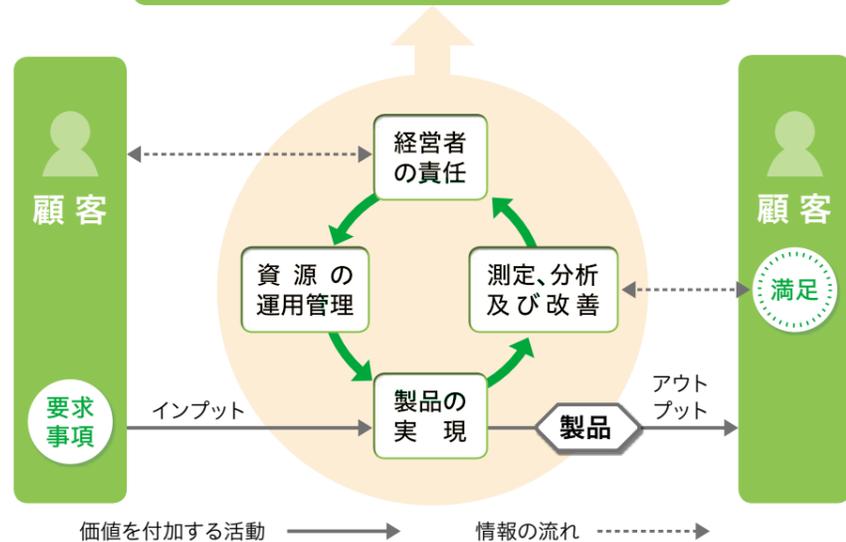
住友化学では、「安全、環境、品質に関する基本方針」の下、お客さまが満足し、かつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供することに努めています。“開発、製造、物流、使用、廃棄の全ライフサイクル”にわたる製品安全に関する社内の具体的な取り組み事項を定め、各段階で法規制を遵守するだけでなく、「製造物責任」の考え方に基いて多面的なリスク評価を実施し、対策を講じることで安全性の高い製品の開発・製造に努めています。



安定した品質の製品とサービスの提供

三沢工場では、お客さまに安定した品質の製品とサービスの提供を目指し、品質保証体制の強化に努めています。お客さまからの当工場製品への品質に関するお問い合わせ、ご要望、苦情等は、品質保証担当が情報整理・分析し、製品ごとに確実な再発防止に向けた取り組みを行っています。また、お客さまから得た様々な情報を工場内各部門で共有し、品質マネジメントシステム(ISO9001)に従って、組織的に品質保証活動を展開しています。

品質マネジメントシステムを活用した継続的改善



11 Responsible Care

私たちを取り巻く社会とともに

持続可能な社会の実現に貢献するため、未来を担う子供たちの育成をはじめ、周辺環境や地域への社会貢献活動に力を入れています。

地域社会への貢献活動

三沢工場では、日々の情報開示と地域の皆さまとのコミュニケーション、未来を担う子供たちの育成を目的として、地域のニーズにあわせた様々な活動に取り組んでいます。当工場の活動を正しく理解していただくとともに、地域の皆さまとの良好な関係を築きながら、より一層親しまれる工場づくりを目指し努力して参ります。



活動内容

- 工場見学
- 地域環境美化活動
 - 工場周辺の清掃活動
 - 海岸沿いの清掃活動 (海洋プラスチックごみ問題)
- 地域イベントへの参加・協力
 - 三沢まつり流し踊りへの参加
- 小・中学校への出前授業の提供
 - 化学実験教室の開催
- 各種スポーツ大会への支援
 - 少年野球
 - バレーボール
 - アイスホッケー
 - 車いすテニス

周辺地域の生活環境保全

騒音・振動・臭気対策

三沢工場は、市民の皆さまの居住区域から離れた場所に立地していますが、工場周辺には農地があり、そこで作業される方々の生活環境保全を目的に、公害防止協定で騒音・振動についての基準を定めています。(但し当工場は規制区域外に該当)

当工場では、日頃から騒音・振動、さらには臭気についても様々な対策を実施するとともに、定期的な測定を行いながら良好な生活環境の維持に努めております。

土壌・地下水汚染の防止

【観測井戸での水質調査】

三沢工場では、製造設備周辺に降った雨水は機械油などで汚れている可能性があるため、周囲を舗装し導水管により全量集水して排水処理設備で処理しています。また、構内道路に降った雨水も同様に集水し、水質監視を行いながら放流しています。

このように土壌・地下水汚染対策には細心の注意を払っていますが、排水貯槽の底部など通常での監視が難しい箇所から汚水等がしみ出すなどのトラブルも想定されます。そのため、設備や導水管の定期点検を行い、トラブルを未然に防ぐとともに、万が一のトラブルも早期に検知し迅速な対応を図るため工場内の要所に観測井戸を設置しています。井戸の水質は定期的な水質調査を行い問題がない事を確認しています。

12
Responsible
Care

国内拠点・アクセス



三沢工場

1949年、除虫菊に含まれる殺虫成分の類縁化合物ピレスロイドを工業的に合成する技術を確立、旧西島工場(大阪府)に「ピナミン®」の製造設備を建設しました。その後の需要拡大に対応するため、1978年、青森県三沢市で新工場の操業を開始。以来、三沢工場は、家庭用、防疫用、農業用など、幅広いピレスロイド系殺虫剤を、世界各国に輸出する供給拠点として、重要な役割を担っています。



1977(昭和52)年 三沢工場全景(建設当時)



2017(平成29)年 三沢工場全景

アクセスマップ



三沢空港からタクシー利用12分/JR三沢駅からタクシー利用20分

三沢工場の概要

R
C

環境保全活動

化学品管理

労働安全衛生

保安防災

品質保証

私たちが取り組む
社会課題

国内拠点・アクセス



環境・安全レポート

三沢工場のレスポンスブル・ケア活動

発行日：2019年10月
編集・発行：住友化学株式会社 三沢工場
〒033-0022 青森県三沢市大字三沢字淋代平
<https://www.sumitomo-chem.co.jp/>

ご意見・お問い合わせがありましたら下記までご連絡ください。
三沢工場 総務部(総務チーム)
TEL.0176-54-2111 FAX.0176-54-2163

